

(電子メール施行)
農 技 第 1 2 8 8 号
平成29年 8月15日

各関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報 第1号を下記のとおり発表します。

ハイマダラノメイガの多発傾向が確認されています。本種は主に新芽を食害し、被害株は収穫が困難になります。育苗期や定植後の予防防除を徹底するよう指導願います。

平成29年度 病虫害発生予察注意報 第1号

- 1 対象作物 アブラナ科野菜 (キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、ダイコン等)
- 2 病虫害名 ハイマダラノメイガ (別名:ダイコンシンクイムシ)
- 3 発生地域 県下全域
- 4 発生程度 多い
- 5 発生時期 8月中旬~10月中旬

6 発生状況について

- (1) 農林水産技術総合センター (加西市) で実施しているハイマダラノメイガの誘致植物 (クレオメ) による調査において、本年は7月の早い時期から幼虫の寄生が確認され、8月に入ってから花枝への寄生率が急増した (図)。平成29年8月9日の寄生率は49.0%であり、同時期の過去5年の平均値である15.2%を大幅に超えている。
- (2) 本種の増殖には、高温が好適条件であり、今後も高温が継続すると予想されている (8月10日発表の1ヶ月予報によると、近畿地方の向こう1ヶ月の気温が高い確率:50%) ことから、本種の発生がさらに増加すると予想される。

7 本種の特徴について

本種の幼虫はアブラナ科野菜を特異的に食害する。育苗期~本圃栽培初期に、幼虫が生長点付近に食入・食害し、生育初期に食害されると生長が止まる (写真1)。また、キャベツ等では結球しないため商品価値を失う (写真2)。

8 防除対策について

- (1) 幼虫の食害（食入）抑止が重要になるため、育苗期から生育初期における予防防除が必要である。
- (2) 寒冷紗や防虫ネット、不織布による被覆は、成虫の飛来、産卵防止に効果がある。また、成虫は夜間に活動（産卵）するので、黄色灯の利用も効果が期待できる。
- (3) 本種は、被害を確認してからの薬剤防除では手遅れとなる。**発生時期に育苗や定植をする場合は、被害の有無にかかわらず、予防のための薬剤散布に努める。**
- (4) 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）を参考にし、農薬使用基準を守る（<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>）。

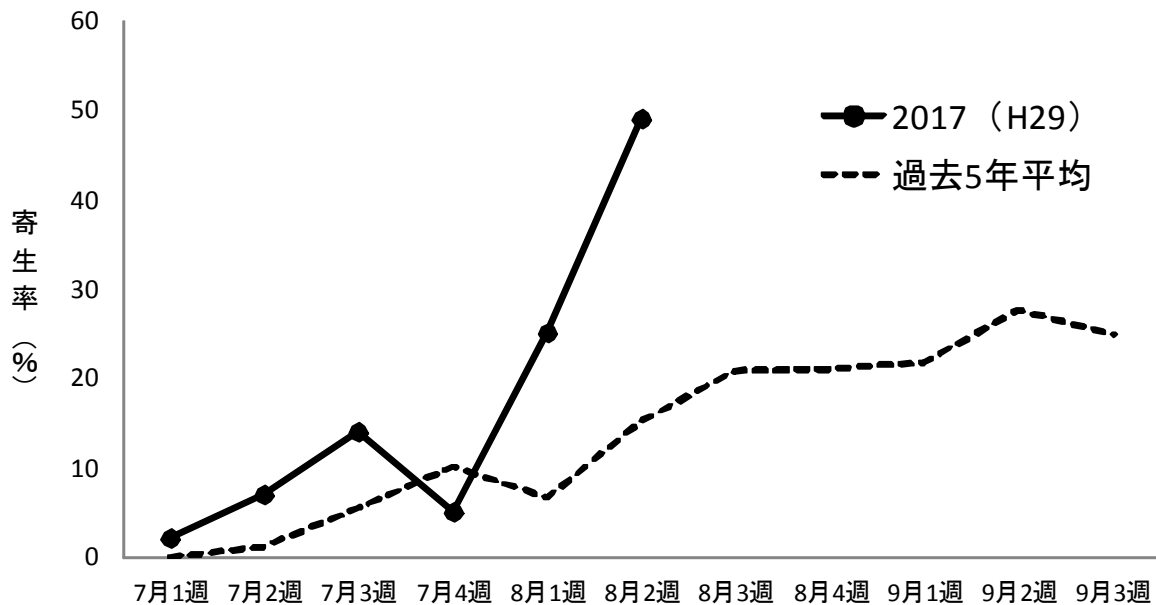


図 誘致植物（クレオメ）花枝におけるハイマダラノメイガ寄生率の推移



写真1 ハイマダラノメイガ幼虫とその被害（生長点の食害）



写真2 食害を受けたキャベツ（正常に結球しない）

*この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載しています。

(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>)

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222